

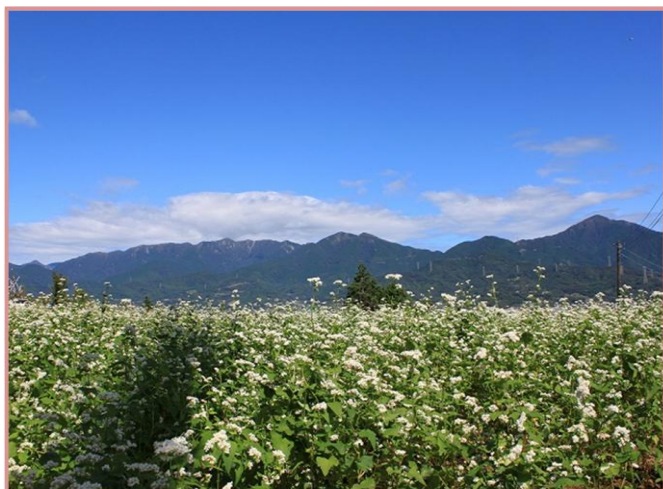
《景観》

権現山展望台からの眺望



弘法山公園が1950年（昭和25）に「神奈川県新八景」に選ばれた際に展望台が設置されたが、現在の展望台は2001年（平成13）に「21世紀記念事業」として建設された。360度の視界が広がるここからの眺望は、2005年（平成17）に「関東の富士見百景」に選定された。

そば畑



たばこ栽培は連作ができなかったため、裏作としてソバ、落花生、小麦などが作られ、水田の少ない秦野ではソバは食料として活用された。

田原の里山風景



盆地周辺を取り囲む里山と、一帯に広がる田畑は秦野の原風景として四季折々の自然の豊かさを伝えてくれている。

はだの桜みち

県道 62 号・西大竹交差点から
県道 706 号・新橋交差点（堀山下）までの区間に、
約 6.2 km にわたって続く桜並



木。この桜並木は県内一の長さを誇り、毎年春になると、美しい桜のアーチが人々の目を楽しませてくれる。

ほほえみロード



水無川の水無瀬橋から平和橋までの約 2km の遊歩道。遊歩道沿いの花壇には花菖蒲をはじめ、四季おりおりの花が市民の手で植えられている。

菩提の茶畑

菩提で 1956 年(昭和 31)にお茶の栽培が始まり、自家製茶工場も造られ、「足柄茶」として出荷されている。茶の生育に適した日当たりのよい南面の斜面地には茶畑が広がり、連続する緑の模様が美しい。



みずなし川緑地



水無川は塔ノ岳南斜面から秦野盆地の中央を流れ、新常盤橋付近で室川と合流する延長 11.5km、流域面積 18.3 平方 km の河川。河川敷は河川改修や砂防工事によって「みずなし緑地」として整備され、散策路は市民の憩いの場となっている。